

4. 公開講座

公開講座企画の立案と運営は、2004年度から高等研センターの業務となっている。

今年度は、「外国人の流入と日本社会の変容」と題し、国際政治、法社会学、刑法学、政治理論を専攻する講師陣から、それぞれの視点からの講義をいただいた。

参加者は一般市民や学生など 89 名(全4回、延べ人数では 307 名)で、熱心に受講がなされた。ご協力をいただいた講師、事務職員の方々、ならびにご挨拶をいただいた加藤智章法学研究科長にお礼申し上げたい。

日 程	講 義 題 目	講 師
第1回 7月25日(木)	第1回 「政策課題としての外国人労働者 —自らのために今からすべきこと—」	北海道大学大学院法学研究科 公共政策大学院(院長) 教 授 遠 藤 乾
第2回 8月1日(木)	第2回 「異文化／他者といかに向き合うか」	北海道大学大学院法学研究科 教 授 尾 崎 一 郎
第3回 8月8日(木)	第3回 「外国人犯罪:その現状と課題」	北海道大学大学院法学研究科・ 准教授 佐 藤 陽 子
第4回 8月22日(木)	第4回 「『多文化主義政策』の有効性をめぐって」	北海道大学大学院法学研究科 教 授 辻 康 夫

※職名は開催当時

(詳細は下記参照)

https://www.hokudai.ac.jp/pr/jihou_19_09.pdf

(北大時報 September 2019 No.786 P19)